

学会長ご挨拶



第 57 回関甲信支部・首都圏支部医学検査学会
学会長 池澤 剛
(株式会社セントラル医学検査研究所)

第 57 回関甲信支部・首都圏支部医学検査学会を公益社団法人茨城県臨床検査技師会の担当で開催させていただくにあたり、担当県を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本学会は昨年 10 月末につくば国際会議場にて開催予定でしたが、全国の各支部学会が中止となり、2021 年 10 月 2 日・3 日、仕切り直しの Web 開催となりました。

これまで茨城県の担当は関甲信支部学会として第 50 回(2012 年:直井芳文学会長)、第 41 回(2004 年:鈴木悦学会長)と何れも、つくば国際会議場での開催となっています。

特に第 50 回学会では一般市民 1,000 名超の聴衆をお迎えし、大ホール会場満席状態の特別講演となった事を記憶しています。

本会場での開催は 3 度目となりましたが、コロナ禍の状況を鑑み、真に残念ではありますが、会場は中継・録画・収録スタジオとなり、ライブ配信を行います。

また、オンデマンド配信も 10 月 9 日から 11 月 8 日までの 31 日間を設定し、より多くの講演を視聴できるように致します。今後の支部学会の在り方や運用方法を模索する学会でもあろうかと思えます。

学会のメインテーマはそのまま引き継ぎ「創造・進化」TSUKUBA2020+1、サブテーマは茨城弁を使い「～変異や変化に対応すっぺよ～」と致しました。

変わりゆく臨床検査の世界に対応すべく、進化への道標を見出せたらと思っています。

DNA の変異には DNA の損傷と複製ミスの 2 種類があり、悪い事ばかりのようですが、進化にはこの変異が必要で、変異無くして進化は有り得ないのです。

日臨技関甲信支部・首都圏支部医学検査学会は日臨技の支部学会としては最も大きな学会であり、一都八県の臨床検査技師会が中心となり、毎年多数の会員が参加する学術集会です。

また、日頃の研究の成果を発表するとともに、臨床検査の最新の知識や情報を得るために欠かすことのできない機会であり、情報交換の場でもあります。

Web での開催となりますが、現地開催とは違った Web ならではの取り組みで、各種講演、学術研究部企画、バーチャル企画、臨床検査写真展および工夫・改善展など、多種多彩な企画を揃え、視聴された皆様にご満足頂けるよう、実行委員を中心に努力してまいります。

多くの皆様の参加登録を、茨城県臨床検査技師会会員一同、心からお待ちしております。